

# 第16回 兵庫ダービー

優勝賞金600万円(ディープリランテ賞)

以前は兵庫デビュー馬の出走が大半だったが、最近は他地区デビュー馬の出走も多い。今年は生え抜きか移籍馬か。兵庫3歳三冠の最終戦は熱い。

## 注目の競走馬



### インディウム

父 / バイロ

母 / センバイセブン

母父 / フォーティナイター

馬主 / 窪田 康志

調教師 / 田中 範雄

生産者 / バカバカファーム

注目点 / 昨年

11月のデビューから連勝が続き、菊水賞では単勝1.0倍の人気に応じて勝利。兵庫チャンピオンシップには当初の予定を変更して参戦するも5着に敗れ、連勝記録はストップしたが、この経験が兵庫ダービーの舞台上で生きてくることだろう。



### オトコギ

父 / サウスヴィグラス

母 / プリモスベシヤル

母父 / フォーティナイター

馬主 / 和田 博美

調教師 / 高馬 元祐

生産者 / グランド牧場

注目点 / 昨年5

月に北海道でデビュー戦を制し、その後は金沢で1勝を追加して兵庫に移籍。今年は2月以降

が好走続きで、菊水賞では3着だったが逃げ粘ったレース内容は上々。サウスヴィグラス産駒だけに距離延長は微妙だが、再度の先手主張なら侮れない。



### コパノジョージ

父 / クロフネ

母 / ウェディングシルク

母父 / サンデーサイレンス

馬主 / 中村 富美子

調教師 / 橋本 忠明

生産者 / ヤナガワ牧場

注目点 / JRAで

は大敗続きだったが、兵庫移籍後に素質が開花。菊水賞では流れ込む形で2着だったが、兵

庫チャンピオンシップでは好位追走から粘り込んで4着に善戦。そのしぶとい脚には、引き続き警戒すべきかもしれない。

## コース紹介

園田競馬場

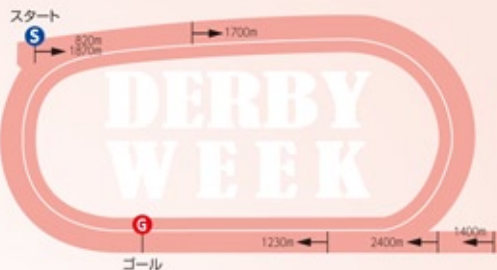
1870m

右回りコース

1周1051m

幅20~24m

ダービー出走可能頭数12頭



**コース** 日本の競馬場としては、1周の距離がもっとも短い小回りコース。3コーナー手前には上って下りる高低差1mの起伏がある。1コーナーと3コーナーのカーブは、徐々に角度がきつくなる「スパイラルカーブ」となっており、急激に減速しなくても曲がりやすいという形状。それを利用して、向正面の中間点あたりから一気の追い上げを見せる差し、追込み馬も多い。

**アクセス** 阪急神戸線の園田駅(普通電車のみ停車)北口から無料バスが頻発。阪神尼崎駅北口、JR尼崎駅南口からも無料バスが用意されているが、阪神尼崎駅を9時50分、10時50分、11時50分(JR尼崎駅発はその15分後)の3本だけとなっている。大阪伊丹空港からはタクシーを利用して、およそ20分、2500円程度の距離となっている。

単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○



ダービージョッキーに聞く!

ダービーの思い出

兵庫ダービー

木村 健騎手

2011年6月9日の兵庫ダービーは、史上初の無敗のダービー馬が誕生するまで注目を集めた。兵庫県の競馬で“ダービー”と冠するレースができたのはサラブレッドが導入された1999年から。それでも世代の頂点を決める“重み”は確かにあった。

晴れて無敗のダービー馬となったオオエライジン。「緊張はしてなかったです。球節炎で3か月ぶりでしたし、兵庫チャンピオンシップで2着だったホクセツサンデーのほうが強いと思っていましたから。だから喜びよりも勝ってビックリでしたよと、振り返る鞍上の木村騎手。しかし本人は忘れていたようだが、当時はレース直後、目を真っ赤に腫らしていたのだ。それだけ喜びのある称号がダービージョッキー。

今年は無敗で菊水賞を制したインディウムが注目を集める。兵庫チャンピオンシップでは5着に敗れたが、地元馬だけの兵庫ダービーは譲れない。鞍上は引き続き木村騎手。無敗のダービー馬にはなれなかったが、オオエライジンを超越する権利は残されている。

## 第15回 兵庫ダービー

1870m/12頭/園田  
2014.6.5/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	調教師	タイム	着差	人気
1	♂	トーコーガイア	兵庫	牡	56	木村健	吉行龍	2.03.7	①	
2	♂	クリノエビスジ	兵庫	牡	56	田中学	橋本忠	5	⑥	
3	♂	トーコーボセイドン	兵庫	牡	56	大山真	吉行龍	½	③	
4	♂	ニホンカイセーラ	兵庫	牡	56	下原理	保利良	¾	④	
5	♀	エナエビス	兵庫	牡	56	永島太	田中範		⑤	



第15回(2014)トーコーガイア

**レビュー** 交流重賞の兵庫ジュニアグランプリを除いて連対率が100%だったトーコーガイアが1番人気。休養明け初戦から中1週という日程が心配されたが、出走馬の大半とは対戦済み。その実力どおり、2番手追走から早々に先頭に立ち、余裕たっぷりの勝利をみせた。2着は菊花賞2着のクリノエビスジ。しかし両馬の間には圧倒的な差があった。

## 第14回 DATA 2013

園田/1870m/12頭/2013.6.6/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	♀	ユメノアトサキ	兵庫	牝	54	坂本和	2.03.6	①	
2	♀	モズオーロラ	兵庫	牡	56	木村健	2	③	
3	♂	オレタチセッカチ	兵庫	牡	56	板野央	3½	⑦	

## 第13回 DATA 2012

園田/1870m/11頭/2012.6.7/晴良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	♂	メイレディ	兵庫	牝	54	木村健	2.03.4	②	
2	♂	ボアソングラック	兵庫	牡	56	松浦政	¾	①	
3	♂	トライ	兵庫	牡	56	永島太	2½	③	

## 第12回 DATA 2011

園田/1870m/8頭/2011.6.9/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	♀	オオエライジン	兵庫	牡	55	木村健	1.58.6	②	
2	♂	ホクセツサンデー	兵庫	牡	55	川原正	7	①	
3	♂	マルヨロイヤル	兵庫	牡	55	永島太	6	⑥	

## 単勝人気別成績

※過去9年間のデータを分析

単勝人気	成績	勝率	連対率	3着内率
1番人気	4-4-1-0	44.4%	88.9%	100.0%
2番人気	4-1-0-4	44.4%	55.6%	55.6%
3番人気	1-2-2-4	11.1%	33.3%	55.6%
4番人気以下	0-2-6-64	0%	2.8%	11.1%

**レポート** 兵庫ダービーは単勝1番人気馬の信頼度がとても高い一戦。過去9年の連対馬18頭のうち16頭は単勝3番人気以内と、順当におさまる傾向が強くなっている。ただし、3着には4番人気以下から6頭が入線。この傾向は今年も注目できそうだ。

## 出走キャリア別成績

※過去9年間のデータを分析

出走数	成績	勝率	連対率	3着内率
5戦以下	1-1-0-4	16.7%	33.3%	33.3%
6~7戦	2-0-2-8	16.7%	16.7%	33.3%
8~9戦	3-3-4-10	15.0%	30.0%	50.0%
10戦以上	3-5-3-50	4.9%	13.1%	18.0%

**レポート** 過去の出走数別に成績をまとめてみると、もっとも好相性を示しているのが通算8~9戦で兵庫ダービーを迎えた馬。また、通算10戦の馬が4頭連対と、まずまずの成績を残している。ちなみに、通算5戦以下で連対した2頭は、園田での勝率が100%だった。

## 4走前までに重賞で2~3着に入っていた馬に注目!

※過去9年間のデータを分析

年度	着順	馬名	該当レース
06年	2着	ジョイーレ	前走 兵庫チャンピオンシップ 3着
07年	2着	エンタノメガミ	前走 兵庫チャンピオンシップ 3着
08年	2着	パセティックシーン	3走前 菊花賞 2着
09年	1着	カラテチョップ	4走前 園田ユースカップ 3着
10年	1着	ハイパーフォルテ	2走前 菊花賞 3着
11年	2着	ホクセツサンデー	前走 兵庫チャンピオンシップ 2着
12年	1着	メイレディ	前走 のじぎく賞 2着
13年	1着	ユメノアトサキ	4走前 園田クイーンセレクション 2着
14年	1着	トーコーガイア	3走前 園田ジュニアカップ 2着
	2着	クリノエビスジ	2走前 菊花賞 2着

**レポート** 兵庫ダービーでは「4走前までに、重賞で2~3着に入っていた」という経歴をもつ馬が好成績を残している。昨年は2着以内に入った2頭がこのデータの該当馬だったが、「3歳重賞」を対象レースを絞ると、該当馬が2着以内に「1頭だけ」入るというレースが続いている。



第14回(2013) ユメノアトサキ



第13回(2012) メイレディ